

2025 年度近畿本部化学部会活動報告と 2026 年度計画

近畿本部化学部会長 齋藤 俊

1. 2025 年度(昨年度)活動報告

昨年度は大阪・関西万博が開催され、会場が「未来社会の実験場」として位置づけられ、各分野において最先端技術の実証および社会実装が進められ、成功裏に閉幕いたしました。当部会においても、この趣旨を踏まえ、教育、エネルギー・環境、健康・医療等の分野を対象に、イノベーション創出、化学技術力の発揮、デジタル技術の活用、さらには“本気のカーボンリサイクル”をテーマとした活動を展開いたしました。

また、近畿本部ならびに他部門との連携を一層強化し、化学分野に限定されない幅広い取り組みを推進いたしました。

2025 年度は、主たる事業活動である CPD 講演会・勉強会を計 5 回開催 いたしました。

4 月：総会記念講演会

2 月：繊維・化学の 2 組織合同講演会

上記講演会では、高等専門学校および女子大学の教員を講師として招聘し、化学分野における学校教育の現状についてご講演いただきました。

取り上げた主なテーマ

環境分野：農業分野における家畜由来メタン発生問題

化学・医薬分野：殺菌剤分野の最新動向、医薬品開発に関する話題

繊維分野：スマートテキスタイルを活用したバイタル信号センシング技術

これら多岐にわたるテーマを通じ、化学技術の社会的役割と今後の展望について理解を深める機会を提供いたしました。

参加状況

参加者総数は前年度をわずかに上回りましたが、化学部門の参加者数については大きな増加には至っておりません。

今後は、より多くの会員に参加いただけるよう、テーマ設定や広報方法の改善を検討してまいります。

幹事会活動は、部会活動の充実を図る活動方針(継続)のもとに実施しました。

1) 部会事業の充実に向け企画・運営を強化

企画では、合同講演会・見学会のメインテーマ決めを支援しました

会計では、CPD 行事の都度、会計の進捗報告づくりをしました

報告では、近畿編集室の要請を受けて編集技術の向上に務めました

2) 協会・団体に発信し社会貢献に寄与

協賛団体強化委員会主催セミナーに講師派遣をしました

3) 近畿本部等と連携し部会の基盤を充実

統括の化学部会幹事会に齋藤がメンバーに入りました。

『近畿本部化学部会設立 50 周年行事(2026 年)』を周知しました。

2. 2025年度会計収支報告(HP 掲載は割愛)

- ・会計監査報告、2025年度会計収支報告

3. 2026年度活動方針

- ・部会事業の充実に向け企画・運営を強化
- ・協会・団体等に発信し社会貢献に寄与
- ・近畿本部等と連携し部会の基盤を充実
 - 未知の領域への対応
化学技術力の発揮と“本気のカーボンリサイクル”の取組
 - 新たな常態に向けて
女性会員の参加促進
未来技術・イノベーションと化学物質管理・評価技術の支援

4. 2026年度幹事会メンバー一覧

- ・齋藤俊 部会長
- ・高岡直樹 副部会長 会計幹事 企画担当 MOCS研幹事
- ・中田将裕 報告担当 企画担当
- ・藤橋雅尚 報告担当
- ・橋本隆幸 報告担当
- ・濱崎彰弘 企画担当 環境研幹事
- ・島野紘一 企画担当 会計副担当 MOCS研幹事
- ・堂動剛 企画担当
- ・久保田正博 報告担当
- ・伊藤雄二 (委嘱)業務監査役 顧問 近畿本部幹事 化学部会幹事
- ・和田信之 (委嘱)会計監査役
- ・西岡亮太 報告担当 企画担当
- 《新任》
畑瀬 芳輝 報告担当 企画担当

以 上